親と子を結ぶコミュニケーションマガジン Pola Melu ポラメル

森の戦士

ボノロン

うその国の巻

2010
8
偶数月15日発行

セブン銀行からのおくりもの。
ご自由にお持ち帰りください。

第5回絵画コンクール大募集!!

絵本はずっと宝もの。

今日も、夢の物語のはじまりです。

読み聞かせてもらうたび、
子どもたちの 夢の世界は広がります。

きらきらの星空、おしゃべりなお花、
歌って踊るゆかいな動物たち、
そして、すてきなドレスのお姫さま…。

なんどもなんども、絵本で思い浮かべる世界は
子どもたちの心に 生きつづける宝もの。

親から子どもへ、
そして子どもから そのまた子どもへ。
「ポラメル」はそんな親子の未来を つないでいきます。



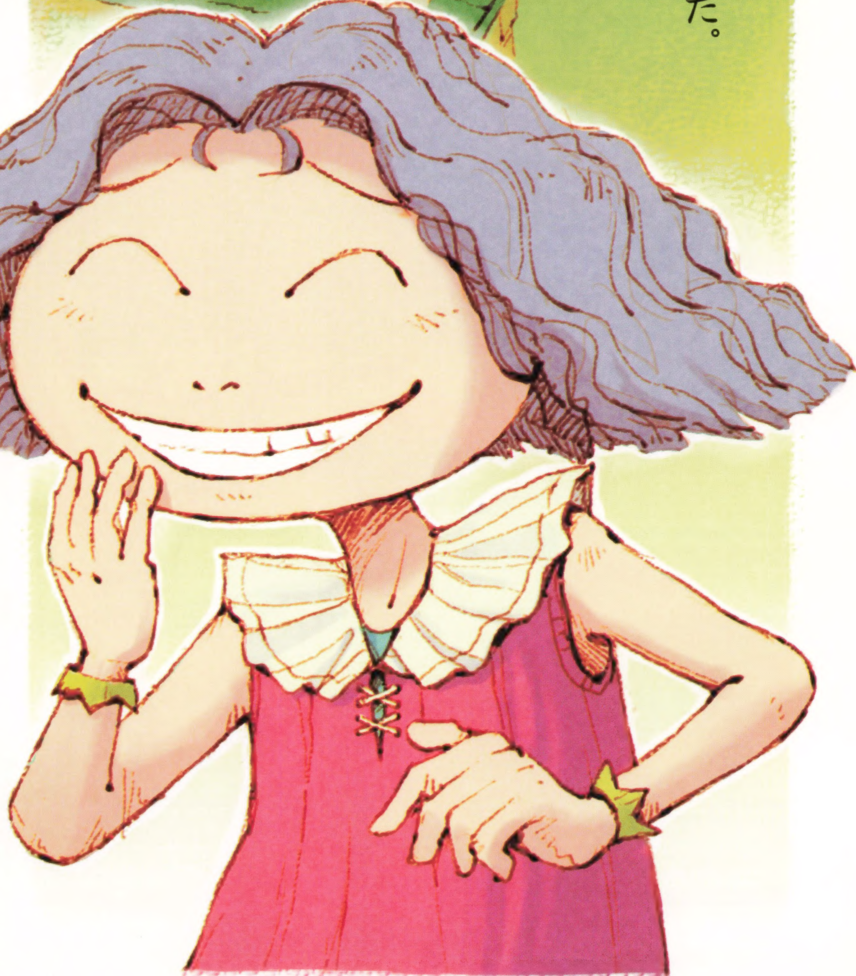
イラスト:いけだこぎく

むかしむかし———。
ある小さな村に
赤、紫、ピンク、白の
きれいな花が 咲きほこる
サルスベリの巨木が
そびえ立っていました。



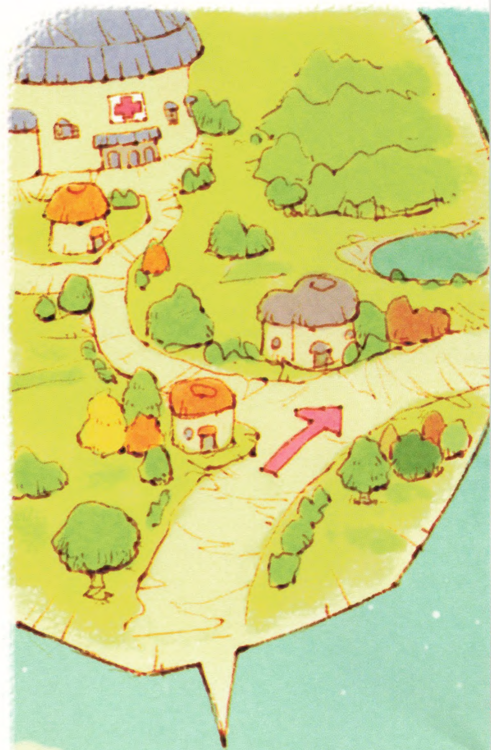
その村には テラという少年が すんでいました。
テラは いつも うそばかり ついています。
学校で 火事だ！ とさけんでは
先生や 子どもたちを
おどろかしたり、

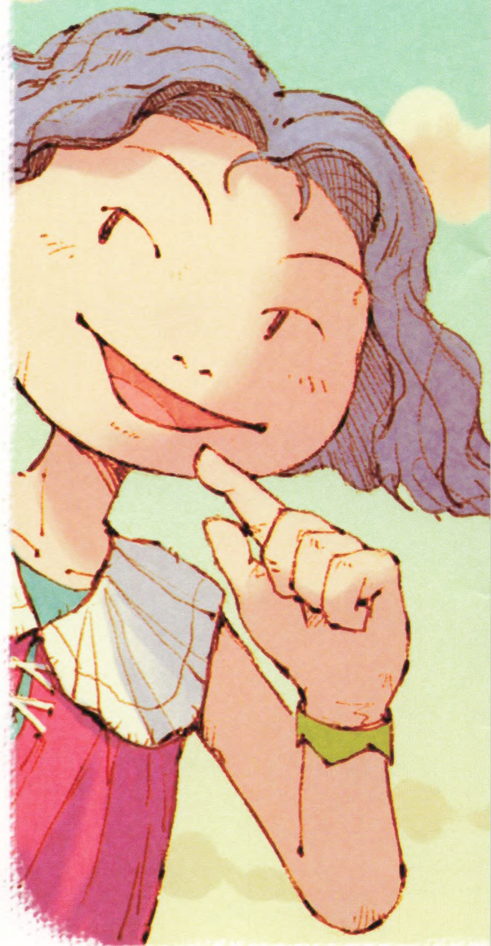




病院への 道をたずねる
おじいさんに
ちがう道を 教えたり、







物をこわしては
だれかの せいにしたり――――。

みんなに めいわくをかけて こまらせていました。
「アハハハハ、また だまされた! だまされる方が
悪いんだよーだ。うそをつくのって おもしろいなあ」
と、テラは 人をだましては よろこんでいました。





ある日、にわで あそんでいたテラの けったボールが
サルスベリの わかく細い木を おってしまいました。
この村の人たちは、みんな サルスベリが 大好きです。
テラのお母さんも にわで サルスベリを だいじに 育てていました。
おれたサルスベリは、この夏に はじめて 花を 咲かせたばかりでした。

「ど、どうしよう！」

そこへ お母さんが 帰って来ました。
お母さんは わかいサルスベリが
ポキリと おれているのを見て 悲しそうな顔をしました。
「ぼ、ぼくがやったんじゃないよ……。
犬だよ、どこかの のら犬がやったんだ！
ぼく見たんだもん。その犬を探してくるよ！」
テラはそう言うと 家を 飛び出して行きました。

お母さんは おれた
サルスベリの花を手にとり、
ポトリと 涙を おとしました。





テラは サルスベリの巨木まで にげて来ました。

「あーよかった。うそをついたおかげで、おこられずにすんだ」

ふとみると、広場では 子供たちが楽しそうに あそんでいます。

テラは さみしそうに そのようすを見つめました。

うそつきのテラとは、だれも あそんでくれなかったのです。

「よーし、次(つぎ)は あいつらを だましてやる！
どんなうそを つこうかな……」
そう考(かんが)えた、その時(とき)――――。





目の前に 大きな オレンジ色の巨人と、一匹の犬が あらわれました。

「うわー！ だ、だれだ おまえは！」

テラは びっくりして さけびました。

「オデはボノロン。巨木の森タスムンから 来たロン」

「おいらはゴン。サルスベリを おったのを
犬のせいにするなんて ひどいワン！
そんなうそばかり ついてるから、
友だちが できないワン！」

「フン、友だちなんて いらないよ。
あーあ、うそをついても
いい国が あったらなあ」

「それなら オメを、
うその国に つれて行くロン」

「うその国!?」

すると、テラは サルスベリの枝(えだ)に
ふわりと だきかかえられました。
枝(えだ)に咲(さ)いた たくさんの花(はな)は いいかおりです。
テラが うっとりと していると――――。





そこは 見たこともない ふしぎな国でした。
昼なのに 月や星が 出ていたり、
ねこが空を飛び、魚が 地面を歩いていたり、
ぎゃく回りの時計や、さかさまの家まで ありました。



どこからともなく 声が 聞こえてきます。

「ここはうその国。ここでは うそをつくと ほめられる。
楽しい楽しい うその国へようこそ――――。」

テラが 信じられない思いで 学校に行くと、
先生と 子供たちが やって来ました。
「テラ！ この前は火事だなんて うそをついたな」
テラは おこられると思いました。ところが、
「えらい！ よくあんなうそをつけたものだ。
みんなも テラを見ならうように」
先生は うそをついたテラを ほめたのです。
「すごいなテラくん」
「こんどは わたしにも うそのつき方を 教えてね」
と、みんなは テラに話しかけました。
うそをついて、にんき者になれるなんて
ここは なんていい国なんだろうと テラは思いました。
「学校がおわったら あそぼうぜ。森の広場に しゅうごうな」
テラは はじめて 友だちとあそぶ約束をして、
すっかり うれしくなりました。

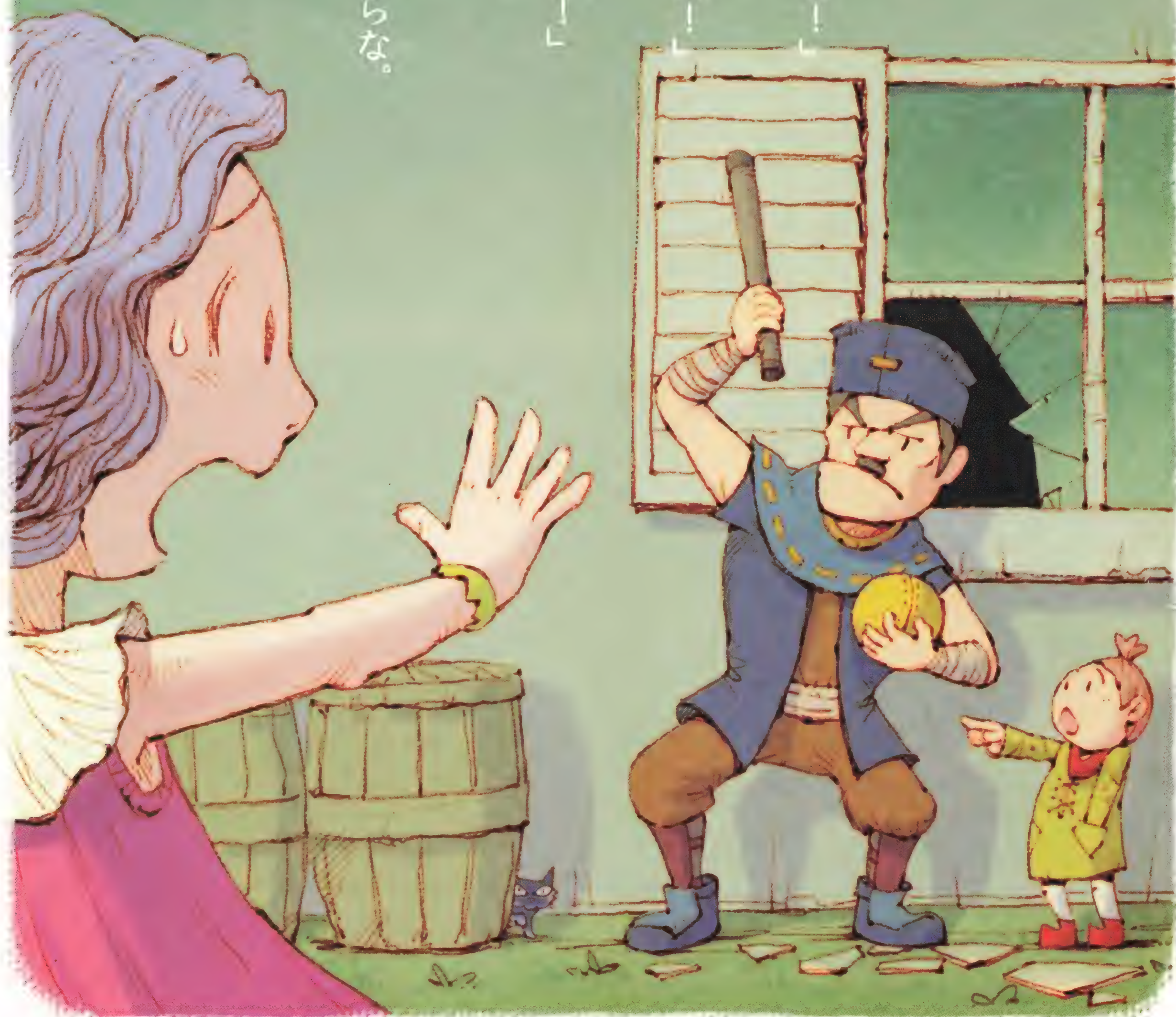


テラは 森の広場に やって来ました。
ところが、いくら待っても 友だちは 来ません。
「そうか、ここは うその国だから、
森の広場じゃなくて、海の広場なんだ！」
でも 海の広場で ずっと待っていても、
だれも 来ませんでした。



暗くなりかけたころ、
やっと友だちがやって来ました。
「やーい だまされた！
おまえと あそぶことが
うそなんだよ！」
笑う友だちを見て、テラは
とっても 悲しくなりました。

テラが しょんぼり 歩いていると、
とつぜん ガシャーンと 音がして、
おまわりさんが 飛び出して来ました。
「こら！ 窓ガラスを わったのは だれだ！」
すると 少年が 言いました。
「あの子がやったんだよ。ぼく 見たもん！」
テラは びっくりしました。
「ちがうよ！ ぼくは なにもしてないよ！」
でもテラが いくらちがうと言っても、
信じてもらえませんでした。
「だまされないぞ、ここはうその国だからな。
ろうやに入れてやる！」
テラはあわてて にげ出しました。





ついにテラは、おいかけて来た
おまわりさんに つかまってしまいました。
「たすけて！ ぼくは なにも わるいこと してないよ！」
そこへ お母さんが やって来ました。
「お、お母さん！ たすけて！」
お母さんは テラを見て こたえました。

テラは もとの国に帰ろうと、ひっしに 走りました。
でも、どっちへ 行ったら いいのか 道が わかりません。
テラは おじいさんに 道を たずねました。
「あの、この国を出るには どっちに 行けば いいですか？」
「それなら 右に 行って ひとつ目を 左じゃよ」



ところが、
その道は 行きどまりに
なっていました。
おじいさんの 言ったことも、
やっぱり うそだったのです。







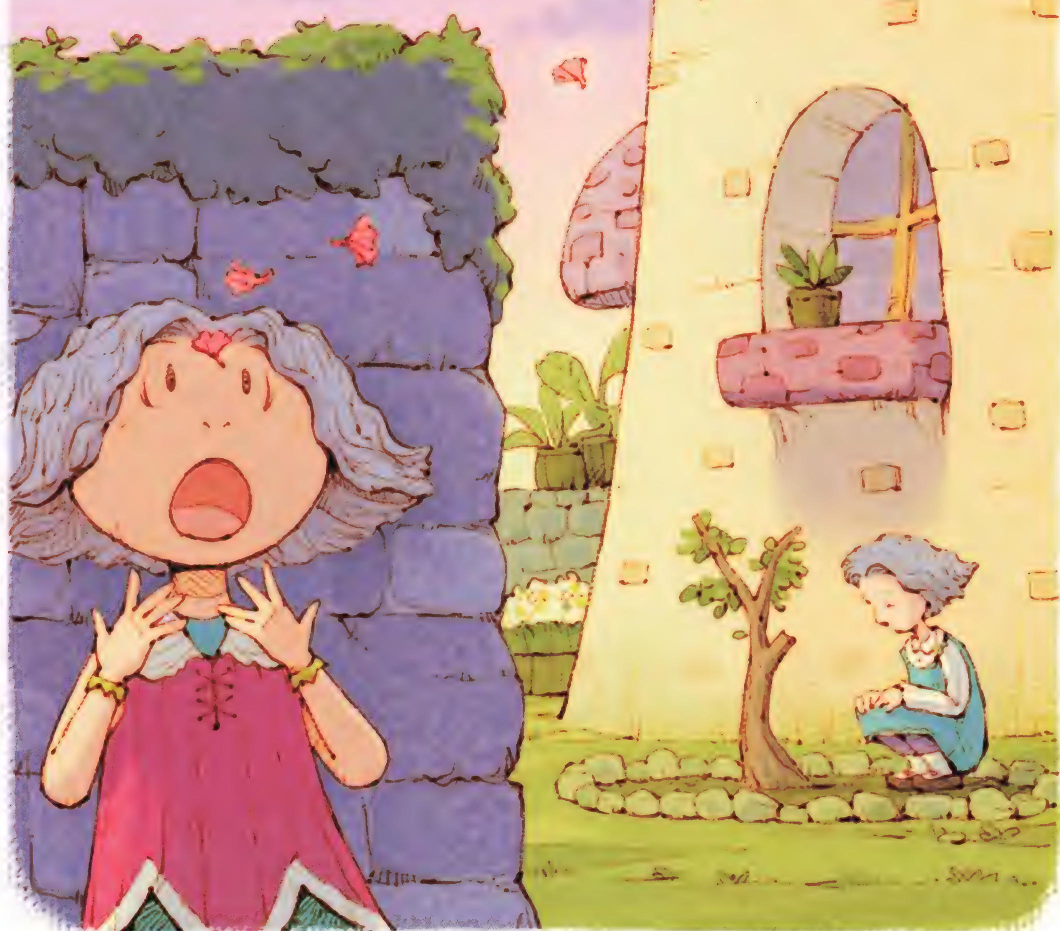
お母さんは、やさしく
テラをだきしめ 頭を なでています。



その やさしい声に テラの目から
涙が あふれてきました。
テラは、お母さんのもとへ かけだし、
その胸に 飛びこみました。
「お母さん……にわのサルスベリを
おったのは ぼくなんだ！ ごめんなさい！」

家に帰ると、お母さんがいました。
テラはおこられるのがこわくて、
なかなかお母さんに
声をかけることができません。

すると風がふいて、
お母さんの声がはこばれてきました。
「テラ…お母さんはテラを信じているわ。
きっといつか、うそは人も自分も
きずつけることをわかってくれることを……。
世界中がテラをうそつきだと言っても、
お母さんだけは……信じてるから……」





テラは 悲しそうな顔で 小さく うなずきました。

「そうか…ぼくは、今まで なんてひどいことを……」

「だれのうそが 一番つらかったロン？」

「……お母さん」

ゴンが、やさしくテラの肩を たたきました。

「だったら、まずお母さんにごめんなさいと言うワン！」



テラが 目をさますと ボノロンの 手のひらの上でした。
「ここは……？」
目に涙を いっぱいためたテラに ボノロンは やさしく ほほえみました。
「うその国なんて ないロン。オメは 夢の中で
サルスベリの巨木さんと 話していたんだロン」
「巨木さんと!?」
「おまえが見た夢は 今まで おまえがついてきた うそだワン」
「サルスベリの巨木さんは、オメのうそを ぜんぶ見ていたロン。
それをオメに 夢で 教えたんだロン」

「私はあなたの
お母さんじゃ ありません。
あなたみたいな子は 知らないわ」
「そ、そんな……どうして
そんなうそつくの！ お母さん！」

テラは 目からボロボロと
涙をこぼして さけびました。
「もううそなんか たくさんだ！
うその国なんか 大きらいだ――――っ！」



その目からは、美しい涙が こぼれています。
ボノロンとゴンは 巨木と いっしょに 見つめています。
「お母さんの願いが かなったワン」
じつは、ボノロンとゴンは お母さんの願いを
かなえるために やって来たのです。
「サルスベリの花言葉は『あなたを信じている』だロン。
お母さんは、テラへの思いをこめて
毎日 だいじに サルスベリを 世話していたんだロン」

テラは、今まで うそをついた人たちに
正直に あやまりました。
それから お母さんと いっしょに
毎日毎日、だいじに サルスベリの 木の世話もしました。



次の年――。
テラの家の にわには、
どの家よりもりっぱな
サルスベリの花が
たくさん咲いています。

そしてテラは、
たくさんの友だちと
元気になかよく
あそんでいるのでした――。



うその国の巻／おわり

しめきりは8月末!!

第5回 絵画コンクール

まもなくしめきり!!(8/31まで) 夏休みの思い出にボノロンを描こう!

テーマ 環境～ボノロンとあそびたい森～

大きな木の枝でブランコに乗ったり、湖のある森で泳いだり…みんなはどんな森でボノロンとあそびたい?
みんなが考えた楽しい森に、ボノロンを招待してね!

【保護者のみなさまへ】環境について考えるきっかけとして、自然の大切さをお子さまとぜひ話し合ってみてください。

応募資格 5歳～小学6年生

応募方法 (1)「ボノロンとあそびたい森」をテーマにB4サイズ程度の画用紙に自由に絵を描いてください。

(2)作品の裏側に、下記の情報を必ず記載してください。

①氏名(ふりがな) ②学校名 ③学年 ④年齢 ⑤性別 ⑥郵便番号 ⑦住所 ⑧電話番号 ⑨絵のタイトル
⑩「ボノロンとあそびたい森」の絵の説明(100字以内) ⑪【ご応募に関する注意事項】に同意いただける保護者の氏名

※学校名、学年は小学生の方のみ　※①～⑧、⑪を以下「個人情報」といいます。　※作品および⑨、⑩をあわせて以下「応募作品」といいます。

(3)作品が折れ曲がらないように台紙などで補強した封筒に入れ、郵送にて応募あて先までお送りください。
またはセブン銀行の各出張所※1、カフェ ゼノン※2へ直接お持ちください。

※1 出張所はアリオ蘇我、イトーヨーカドー八千代店、アリオ川口、イトーヨーカドー葛西店、アリオ亀有、アリオ西新井の中にあります。

※2 JR中央線 吉祥寺駅より徒歩 約5分

(4)送料は各自でご負担願います。



※全長約95cm
最優秀賞 賞品

あて先 〒225-8711
神奈川県横浜市青葉区荏田町1474-4 ボノロン絵画コンクール事務局

締め切り 2010年8月31日(火)当日消印有効

入賞者発表方法 ポラメル10月号、ポラメル公式ホームページ他
※発表に際し、ご本人のお写真やコメントをポラメル本誌、HPにて発表する場合もございます。

賞品 最優秀賞:特大ボノロンぬいぐるみ1名　その他の賞も用意しています。

【ご応募に関する注意事項】 (1)ご応募の際には、保護者の方の同意が必要になります。(2)応募作品は返却いたしません。(3)コンクールの選考結果に関わらず、作品送付の時点で、応募作品に関する所有権、著作権等の権利は、「ボノロンといっしょ。」プロジェクトに移転するものとし、応募作品を結果発表のための複製・上映や、広告宣伝等のための印刷物・HP等に使わせていただく場合があります。(4)入賞の権利を他人に譲渡したり、換金することはできません。(5)ご応募者の個人情報は、コンクールの主催である株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ(所在地:東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14 メディ・コーブビル8 代表者:堀江信彦 管理責任者:キャラクターライツ部 宮直樹)が責任を持って保管、管理し、コンクールの選考、発表、連絡以外には利用いたしません。なお、入賞作品については、ポラメル10月号ならびにポラメル公式HP等で、入賞作品、ご本人のお名前、ご年齢、お住まいの都道府県を発表するとともに、ご本人のお写真やコメントについても発表させていただく場合がございます。共催:「ボノロンといっしょ。」プロジェクト(株式会社セブン銀行、エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社、株式会社キッズステーション、株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ)主催:ノース・スターズ・ピクチャーズ

応募者全員にボノロンからクリスマスカードが届きます

※応募時にご住所やお名前が正しく記入されていない場合、カードが届かない場合があります。ご了承ください。



今年はどんなカードかな?
※2007~2009年度のカードです。

ご応募まってまーす!!

イラスト／Chiro

あそんで！ボンロン!!

むしをぜんぶとってから、ボノロンにあいにいこう!!
（いちどとおったみちは、もうとおれないよ！）

イラスト：やまざきまこと



こたえはタスムンポストのページだよ。

ボノロンニュース

えほん



1~5才向き

楽しいしかけとお話で基本のことばをおぼえよう!

『ボノロンわくわくしかけ』シリーズ

好評発売中!





ボノロンわくわくしかけ あいさつ／どうぶつのこえ
絵・いけだこぎく　プロデュース・はらてつお
各定価850円(税別)



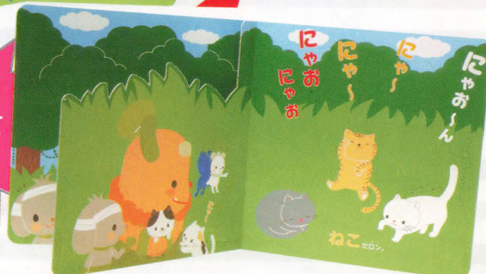
くさむらから
だれかみえるよ…



おともだち
がいたよ!
こんにちは!



にゃーにゃー
ないているのは
だれかな?



ねこが
かくれて
いたよ!

森の戦士ボノロンシリーズ

①～⑦巻発売中!
各定価1200円(税別)



WEB

今回のWEB絵本読み聞かせは…

はしのえみさん

鹿児島県出身。萩本欽一さんが主催する演劇集団「欽ちゃん劇団」にて演技やダンスのいろはを学び、1996年「王様のブランチ」でリポーター役に抜擢され、姫様ブームを巻き起こしました。その後もテレビ・舞台で大活躍。2009年にはドラマ『みこん六姉妹』で共演した俳優の細島郷太郎さんと結婚。今、ノリにノってる新妻タレントさんです。

ボノロン情報・イベントのお知らせはポラメル公式HPへ!
goo **http://anime.goo.ne.jp/polamelu**

アニメ

8月の放送スケジュール

BS12ch TwellV(トゥエルビ)
毎週金曜日 あさ7:00～／よる5:00～
「キッズステーション・タイム」内



BS12 TwellV

ボノロン
～不思議な森のいいつたえ～

※放送時間は変更になる場合があります。
詳しくはHPをご確認ください。

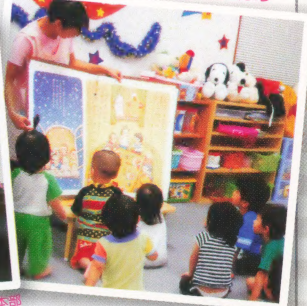
http://www.twellv.co.jp

大型えほん

東京都 CAFE ZENON
うちやえゆかさん読み聞かせ会より



横須賀市 キッズルーム
さくらんぼぅ読み聞かせ会より



主催:サンケイリビング新聞社 武蔵野本部

みんなで読むと楽しさ2倍! **大型絵本貸し出し中!**

お申し込みは…
貸し出し条件：以下にご同意いただける、団体・個人の方
●営利目的でなく、無償で読み聞かせを行っていただけること
(商業施設でのご利用はご遠慮下さい)
●おはなし会・授業等の行事にてご使用いただけること
●大型絵本の送料(往復)をご負担いただけること
貸し出し絵本タイトル：①涙のきせきの巻　②幸せのタネの巻　③帰ってきたやさしさの巻　④「ありがとう」をさがして…の巻　⑤ベジのゆびきりの巻
貸し出し期間：1週間程度(発送期間含む)
貸し出し冊数：1回につき最大2冊まで
応募方法：お電話でのみ受付いたします。
平日11時～18時　TEL 0422-29-0304　ポラメル編集部まで

※冊数に限りがあるため、ご希望のタイトル・スケジュールに沿えない場合がございますので、予めご了承下さい。詳細についてはポラメル編集部までお問い合わせ下さい。

編集部とみんなをつなぐ タスムンポスト



おたよりたくさんありがとう! 絵画コンクールへのご応募もまってまーす!



イラスト／たぶちあい

みんなのさくひん





佐賀県 田中利奈ちゃん 8才(右) 里沙ちゃん 6才(左)



姉妹で、サッカーをしているボノロンを描いてくれました! ボノロンもワールドカップの試合を見てサッカーしたくなったのかしら?



福島県 今泉七華ちゃん 3才



ピンクのお花と青い空の色がとってもきれい! 「ぼのろん」の文字も上手に書けているッキ!



奈良県 高橋明日海ちゃん 7才



りんごにきのこにさくらんぼにケーキ…ボノロンったらくいしんぼうね! 食べ物にかこまれてうれしそう!



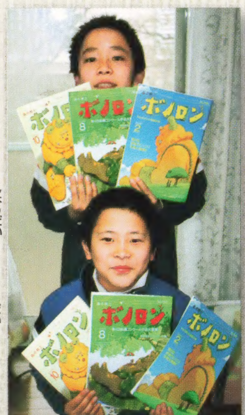
長野県 真柴萌菜ちゃん 6才



ボノロンとお花見をしているところだって! ボノロンがちょっと照れてるところがかわいいポン♥

みんなのしゃしん





千葉県 丸山翔大くん・広大くん 10才

ぼくたちは仲良しふたご! なんでもいっしょだよ。でもボノロンだけは、自分のをそれぞれ持っているんだよ。



兄弟で応援ありがとう! 好きなボノロンのお話も同じなのかしら? これからもずっと、ふたりで仲良くボノロンの物語を楽しんでね!





神奈川県 伊澤里佳ちゃん 10才

ハガキから飛び出しそうな迫力があるイラストだね! ボノロンのピースは、めずらしいウキ!



神奈川県 野村朱里ちゃん 8才



たのしい歌声が聞こえてきそうだポン♪ 女の子がボノロンと同じお洋服を着ていて、かわいい!



あそんで! ボノロン!! のこたえ



うまくゴールできたかな?

お便り・作品・写真募集中!

ポラメル編集部では、お便りや作品・写真を募集しています。住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢を明記の上、下記のあて先までお送り下さい。採用された方には素敵なプレゼントをご用意しています。

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14-3F
㈱NSP ポラメル編集部「タスムンポスト」係

メッセージ、イラスト、写真はもちろん、ボノロンの手作り作品などみなさまからの楽しいお便りをお待ちしています。※ご応募いただいたお便り等は返却できませんので、予めご了承下さい。



PRESENT

ボノロンミニタオル2枚セットまたはボノロンおにぎりランチBOXを各50名様にプレゼント

下記のアンケートの答えを郵便ハガキにご記入の上、弊社までご送付ください。
抽選で「ボノロンミニタオル2枚セット」または「ボノロンおにぎりランチBOX」を各50名様に差し上げます。

※ご応募多数の場合は、ご希望の品にそえない場合がございます。予めご了承ください。
※発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

【締め切り】2010年9月15日(水)当日消印有効
【あ て 先】〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14-3F
(株)NSP　ポラメル8月号プレゼント係

1. あなたのお名前、ご住所、電話番号、性別、年齢、既婚/未婚、ご職業
2. お子様、お孫様がいる方は、お子様、お孫様の年齢、性別
3. ご希望のプレゼント番号

旅行についてお聞きします。

4. あなたはこの夏に旅行に行きます(行きました)か?
   a.行く(行った)　b.行かない

b.行かないを選ばれた方にお聞きします。

5. 行かない理由を教えてください。(複数回答可)
   a.節約のため　b.休みが取れないため
   c.旅行が苦手なため　d.子どもが小さいため
   e.ペットを飼っているため　f.その他(　　　　　　　)

a.行く(行った)を選ばれた方にお聞きします。

6. 旅行の期間はどのくらいです(した)か?
   a.日帰り　b.1泊2日　c.2泊3日　d.3泊4日　e.4泊5日
   f.5泊6日　g.6泊以上
7. 旅行にはどなたと一緒に行きます(した)か?(複数回答可)
   a.家族と　b.親と　c.友人と　d.恋人と　e.親戚と
   f.会社の同僚と　g.ひとりで　h.その他(　　　　　　　)
8. 旅行先への交通手段を教えてください。(複数回答可)
   a.自家用車で　b.レンタカーで　c.電車で　d.飛行機で
   e.バスで　f.客船で　g.その他(　　　　　　　)
9. 旅行の行き先を教えてください。(複数回答可)
   a.帰省　b.知人宅・親戚宅　c.海・山などのリゾート地　d.海外
   e.テーマパーク・遊園地　f.都市への観光・ショッピング
   g.地方への名所観光・温泉　h.その他(　　　　　　　)
10. 本誌を読んでの、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

❶ボノロンミニタオル2枚セット　50名



※タオルサイズ 約20×20cm

暑い日はリストバンドにして汗がふけるよ!

❷ボノロンおにぎりランチBOX　50名



※お届けの色はこちらにお任せください。

※写真は使用イメージです。
プレゼントはランチボックスのみとなります。

このQRコードは携帯でスキャンしてください。

※ご記入いただいた個人情報は当選賞品の送付のため、及び弊社商品やサービス情報をお客様に提供するために使用します。
ご意見・ご感想につきましては、個人情報を特定しない範囲において、弊社の出版物等に情報として転載する場合があります。



携帯電話からも応募できます!

応募はこちらから

URL　http://polamelu.jp/e/
空メール　p@polamelu.jp



森の戦士 ボノロン
親と子を結ぶコミュニケーションマガジン ポラメル(非売品)
2010年8月15日発行
Produce　原哲夫
Story　北原星望
Illustration　永山ゴウ
原案協力　八津弘幸
発行人　宮直樹
編集人　宮野亮
編集スタッフ　高橋政行／福沢沙織
デザイン　福田亮一

協賛　株式会社セブン銀行
協力　株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ
編集・発行　株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ
〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-14-3F
Tel: 0422-29-0304(ポラメル編集部)
印刷　図書印刷株式会社



セブン-イレブンは地域社会の安全・安心に貢献するお店を目指します。
[セーフティステーション活動実施中]

ポラメル編集部では、イラストレーターからの持ち込み作品を広く受け付けております。まずは上記のポラメル編集部までお電話ください。

次号「森の戦士ボノロン」は2010年10月15日(金)お届け予定です。
一部地域で配布日が異なる場合があります。ご了承下さい。